

大地震や風水害に見舞われたとき、
とっさの判断が
生死を大きく左右することがあります。

かけがえのない**命を守るために、**

防災・減災の知識や

避難時の心得などを

この冊子にまとめました。

普段から目にとまりやすい場所に保管し、

ご家庭での防災計画にご活用ください。





岡崎市長
内田康宏

岡崎市防災ガイドブックの発行にあたり

岡崎市は、東海地震の地震防災対策強化地域と南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されています。平成26年5月には、愛知県から南海トラフでの巨大地震による被害予測調査の結果が公表されました。これによると従来の東海・東南海地震をはるかに超える被害が想定され、本市においても地震対策の一層の強化を図るため被害想定を見直し、平成27年3月に公表しました。

一方、局地的集中豪雨による水害・土砂災害が全国各地で発生しています。豪雨災害は、近年の異常気象により今後も頻発することが大変危惧されます。

地震災害や風水害自体をなくすことはできませんが、日頃からの「備え」によって被害を最小限に抑えることはできます。「減災」を推進するには、一人ひとりが自分の身は自分で守る「自助」と地域全体で助け合う「共助」の行動が最も重要になります。

この冊子は、新たに想定された南海トラフ巨大地震による被害の状況をはじめ、災害危険箇所や防災に関する知識・情報などをまとめたものです。いざというときに的確な行動ができるよう日頃からご活用いただき、皆様が災害から命や財産を守るための一助となることができれば幸いです。

目次

地震編	命を守る! 地震その時にどうする?	3
	備える! 地震のことを知っておこう!	7
風水害編	命を守る! 大雨その時にどうする?	13
	備える! 風水害のことを知っておこう!	15
岡崎市の防災 自分たちで守り、ともに支えあうまちへ		19
地図編		22
資料編	岡崎市の地形・風水害の記録など	47